

## (1) 自社活動からのCO<sub>2</sub>排出量の把握及び削減活動

- 国内事業拠点におけるスコープ1・2（燃料・電力由来）排出量を集計。  
2024年度実績では482t-CO<sub>2</sub>を排出。
- スコープ1は、CO<sub>2</sub>排出量低減活動として、各拠点オフィス照明のLED化、営業車・サービス車のEV車・ハイブリッド車への移行を進めました。また、オフィス内のペーパーレス化推進により、コピー用紙の使用量を前年度比6%削減。現在、文書管理コンサルタントによるセミナーを実施しており、更なるペーパーレス化を促進します。今後もCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みを継続していきます。
- スコープ2では、オフィス照明のLED化、使用時間の見直し、機器の高効率化による削減を実現。
- 今後は、再生可能エネルギー電力の直接購入（PPAモデル等）も視野に入れた取り組みを進めます。

## (2) フロン排出抑制と管理強化

- 定量管理と見える化、フロン充填量の記録・保管の強化。

## (3) 建築設備によるCO<sub>2</sub>削減支援（ZEB推進等）

- LCC最適化支援や熱流体シミュレーションで最適設計を実施。
- 某事務所ビルにおいてNet-ZEB認証・エコリーフ等取得。

## (4) 環境マネジメント体制の構築

- ISO14001、ISO9001を全社取得。環境教育や内部監査を実施。

## (5) TCFD提言に基づく情報開示

- CO<sub>2</sub>価格変動、ZEB需要、法規制強化等を評価し、戦略を策定。

・ 取り組みの効果と進捗

2024年度の排出量：482 t-CO<sub>2</sub>

(スコープ1：132 t-CO<sub>2</sub>、スコープ2：350 t-CO<sub>2</sub>)

スコープ3排出の把握および削減も今後の課題として検討します。